事業番号	18

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	集会施設管理事業							担当部	市長公室	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業以外				担当課	協働推進課	
	事業期間	平成12年度以前	～	平成31年度以降					担当係	市民協働係	
	総合計画分野別計画 主目的	7 行政経営	30 地域協働	2 コミュニティ活動を推進します							
	副目的								実施計画対象		
	予算区分	款	2	項	1	目	10	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市集会施設維持管理費交付金交付要綱									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	自治会をはじめ地域活動の促進拠点として、集会施設の維持管理を行う。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 施設を管理している自治会等に対して集会施設維持管理をするための費用の一部を交付金として交付する。また、利用者が安心してかつ安全に利用できるように不良箇所の修繕を行うほか、収容可能人数が300名以上の施設については、安全確保のため防火対象物保守点検を業者委託により実施する。 【主な事務事業】 ・集会施設に係る修繕　・集会施設保守管理委託（防火対象物保守点検） ・集会施設維持管理費交付金の交付 ◆26年度直接経費の内訳 旅費（3千円）　需用費（修繕料含）（7,414千円）　役務費（4千円） 委託料（347千円）　使用料及び賃借料（620千円） 負担金、補助及び交付金（37,356千円） ◆27年度直接経費の内訳 旅費（3千円）　需用費（修繕料含）（10,015千円）　役務費（6千円） 委託料（401千円）　使用料及び賃借料（620千円） 負担金、補助及び交付金（37,597千円）									
	受益者負担	無									

コスト			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費		千円	56,155	43,291	45,744	48,642
	正職員	従事者数	人	0.15	0.20	0.20	0.20
		人件費	千円	789	1,052	1,052	1,052
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	56,944	44,343	46,796	49,694
	対前年比		%		77.8	105.5	106.1
財源	一般財源		千円	54,936	42,470	45,083	47,826
	国・県支出金		千円	1,038	903	743	900
	その他財源		千円	970	970	970	968

事業番号	18

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
防火対象物点検報告委託数	施設	目標	—	—	—	—
		実績	44	45	43	
集会施設維持管理費交付金対象施設数	施設	目標	—	—	—	—
		実績	99	99	99	
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
修繕工事件数	件	目標	—	—	—	—
		実績	44	19	34	
		目標				
		実績				

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	施設管理者から要望のあった修繕等に対して、その要望に応えることができた。また、維持管理費交付金についても、各施設において有効に活用された。
	事業実施における課題	施設の経年劣化に伴い、修繕については今後増えることが予想される。 維持管理費交付金について、金額の算定区分が粗く、不公平感があるとの意見がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響	施設の利用に支障が出るほか、施設管理者の負担が増加し、地域コミュニティの拠点としての集会施設の機能を損なう。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	緊急対応としての修繕に併せ、利用しやすい施設の機能を確保するための計画的な修繕を行っていく。 維持管理費交付金について平成26年度に検討した改善案を活用し、制度の変更に向け調整を行う。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　／　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	今後も自治会等の施設管理者により、集会施設が適切に管理される必要がある。 また施設の老朽化による修繕対応が今後も見込まれるため。
	28年度以降の改善案	施設の長寿命化、長期利用化を見込むため、計画的に修繕を行っていく。 維持管理費交付金について制度変更を行い、適正な交付事務を行う。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 維持管理費交付金のあり方について整理すること。